

『三洋化成グループ 統合報告書 2022』の発行について

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、ステークホルダーとのコミュニケーションツールとして「三洋化成グループ統合報告書 2022」を発行し、あわせて当社コーポレートサイトで公開しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、ステークホルダーの皆さまとの共創により、経済的価値と社会的価値を向上し、将来にわたって持続的に成長することを目指しています。昨今、財務と非財務情報の統合に対する関心が高まる中、ステークホルダーの皆さまに当社グループのありたい姿「全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるグローバルでユニークな高収益企業に成長する」や、その実現に向けた取り組みをわかりやすく伝え、ご理解をより深めていただくことを目的に、本年度初めて制作したものです。

当社グループは2022年に入り、「2030年のありたい姿に向けた経営方針」、「サステナビリティ基本方針」、重要課題「マテリアリティ」などを定めてまいりました。「三洋化成グループ 統合報告書 2022」では、2030年のありたい姿や価値創造に向けた取り組みなどを総合的に盛り込むとともに、ガバナンスへの取り組みや課題認識などを「社長メッセージ」や「社外取締役白熱座談会」などのコンテンツを通じて、ステークホルダーの皆さまの理解促進を図っています。

なお、統合報告書に掲載していない非財務情報については、従来の「CSRレポート」に代えて、「CSRデータブック」として当社コーポレートサイトで公開します。

当社グループは、今後もステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にしながら、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上に努めてまいります。

◆「三洋化成グループ 統合報告書 2022」の概要

本報告書は、「プロフィール」、「戦略」、「基盤」の3部構成となっています。

①プロフィール:当社グループの経営理念や現在の姿を紹介

「プロフィール」では、2030年のありたい姿に向けて取り組む経営理念や、当社グループのこれまでのあゆみ、財務・非財務ハイライトなどを紹介しています。

②戦略:持続可能な成長のための戦略を紹介

「戦略」では、中長期での価値創造に大きな影響を及ぼす重要課題として特定した「マテリアリティ」とその解決に向けた取り組みを中心に構成しています。「社長メッセージ」による経営陣の想い、既存事業、新規事業における活動内容などを紹介し、ワクワクする未来に向けて躍動する当社グループについてご理解を深めていただける内容にしています。

③基盤:経営基盤の強化やガバナンスを紹介

「基盤」では、企業活動が成立する前提としての大命題である地球環境の保護や、経営基盤である従業員の働きがい向上への取り組みを紹介しています。また、ガバナンスパートでは、リスクマネジメントやコンプライアンスの管理・体制に加え、当社グループの課題や「らしさ」を知っていただくために、社外取締役の座談会も掲載しました。

※「三洋化成グループ 統合報告書 2022」はこちら

https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info/integrated_report



※「CSR データブック」はこちら

https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/csr_report

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>